

(案)

令和3年(2021年) 月 日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市環境影響評価審議会
会長 近藤 哲也

(仮称) 石狩湾沖洋上風力発電事業計画段階環境配慮書について (答申)

令和2年12月16日付け札幌対第51213号にて当審議会に諮問のあった標記の件について、下記のとおり結論を得たので答申する。

記

本事業では石狩湾の一般海域に最大で高さ270mに到達する巨大な風力発電機が数多く建設されることにより、石狩湾を望む景観に重大な影響を及ぼす可能性があることから、事業計画の更なる検討に当たっては、次に掲げる事項について検討を加え、本事業による環境影響を極力回避又は低減すること。また、検討結果を方法書以降の手續に反映させること。

1 総論

(1) 累積的影響について

当該事業実施想定区域の周辺には、他事業者による風力発電事業が稼動中又は環境影響評価手続中であるため、これら他事業と本事業に伴う累積的影響が懸念される。

このため、特に先行事業との累積的影響については、可能な範囲において情報等の収集に努めたいとあわせて、調査、予測及び評価を行うこと。

(2) 事業実施区域の設定について

方法書以降の手續においては事業計画の熟度を高めるとともに、風力発電機の配置等を慎重に検討したいとあわせて、事業実施区域を設定すること。

2 各論

(1) 景観に対する影響について

ア 風力発電機の面的な広がりによる影響を適切に把握するため、調査、予測及び評価に当たっては、フォトモンタージュを作成する等のより適切な方法を導入するとともに、景観に関する複数の専門家等への十分な意見聴取及び地元住民への丁寧なヒアリングを実施し、その意見結果等を反映させること。

イ 札幌市内の眺望点には、遠景域又は遠景域以遠に及ぶような風力発電機の視距離が比較的遠い地点が多い。

このため、中景域の視認性を主な対象とした垂直視野角に係る指標のみならず、遠景域又は遠景域以遠の景観への影響を評価する指標についても最新の知見や事例の収集等十分な検討を行うこと。

ウ 景観に関する調査・予測及び評価を行うに際しては、地域を特徴づける自然・文化・歴史等その地域における景観の特徴に関する情報の収集等に努め、その結果を分かりやすく記載すること。

エ 本配慮書においては、風力発電機の塗装色を自然になじみやすい色にすることで景観に対する影響を低減すると評価している。一方、ブレードの色彩の視認性が低い場合、風力発電機の設置・稼働に伴いバッドストライクやバードストライクの発生リスクが高まることも懸念される。

このことから、風力発電機の色彩の選定に当たっては、景観への影響の低減のみならず、コウモリや鳥類への影響を可能な限り回避するよう十分な検討を行うこと。